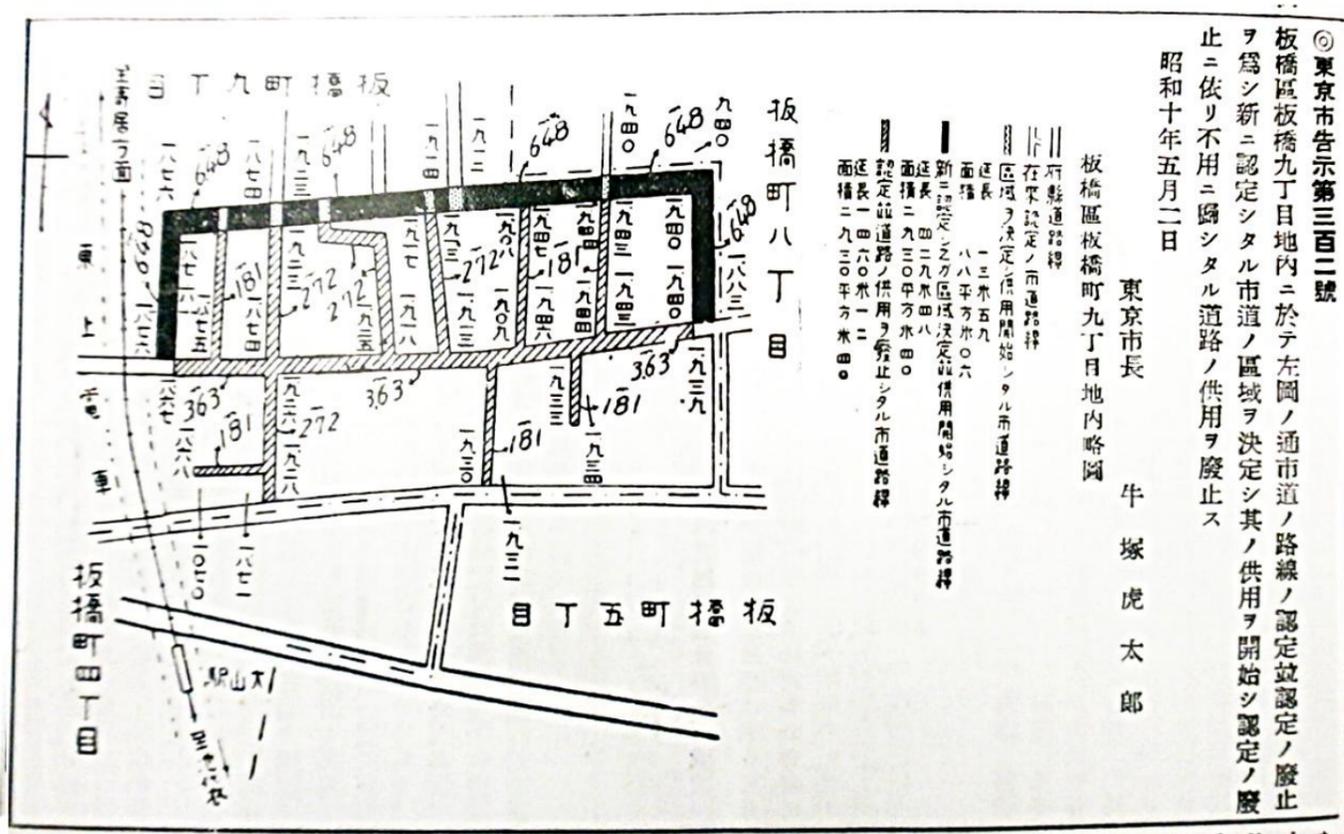
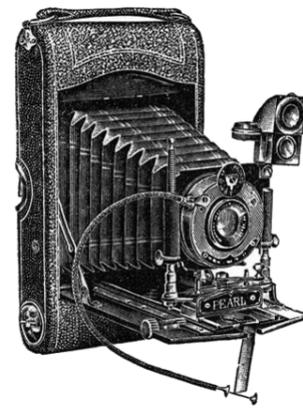


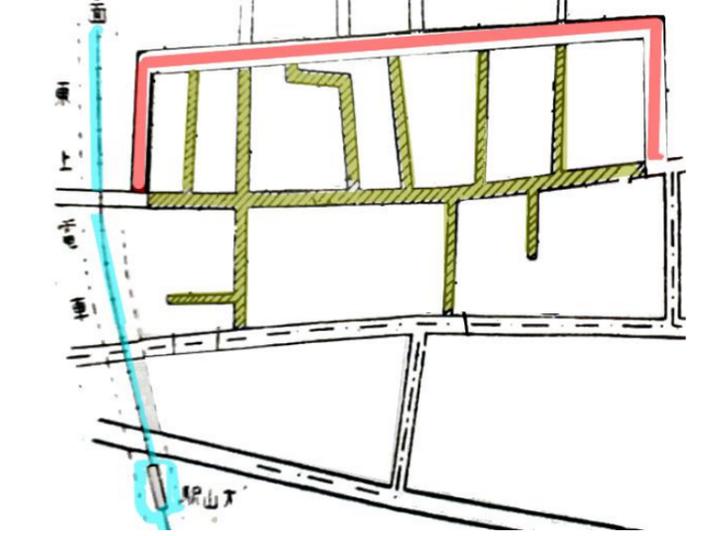
# 写真が語る 大正初めの 養育院

玉越慶弘 養育院渋沢記念コーナー維持ボランティア  
 編集：宮本孝一 老年学情報センター



◎東京市告示第三百二號  
 板橋區板橋九丁目地内ニ於テ左圖ノ通り道ノ路線ノ認定並認定ノ廢止  
 ノ爲シ新ニ認定シタル市道ノ區域ヲ決定シ其ノ供用ヲ開始シ認定ノ廢  
 止ニ依リ不用ニ歸シタル道路ノ供用ヲ廢止ス  
 昭和十年五月二日  
 東京市長 牛塚 虎 太郎

板橋區板橋町九丁目地内略圖  
 一 所轄道路線  
 二 在來認定ノ市道路線  
 三 區域ヲ決定シ供用開始シタル市道路線  
 四 認定ノ廢止ニ依リ不用ニ歸シタル市道路線  
 五 新ニ認定シタル市道決定區域供用開始シタル市道路線  
 六 認定道路ノ供用ヲ廢止シタル市道路線  
 七 延長一四八〇米一〇  
 八 延長一四八〇米一〇  
 九 延長一四八〇米一〇  
 一〇 延長一四八〇米一〇  
 一一 延長一四八〇米一〇  
 一二 延長一四八〇米一〇  
 一三 延長一四八〇米一〇  
 一四 延長一四八〇米一〇  
 一五 延長一四八〇米一〇  
 一六 延長一四八〇米一〇  
 一七 延長一四八〇米一〇  
 一八 延長一四八〇米一〇  
 一九 延長一四八〇米一〇  
 二〇 延長一四八〇米一〇



古道の付け替えと、新道の市道認定  
 養育院板橋本院本院の建設（大正10～）により、小松屋横町道とその側道（緑）は、養育院を迂回するように付け替えられた（赤）

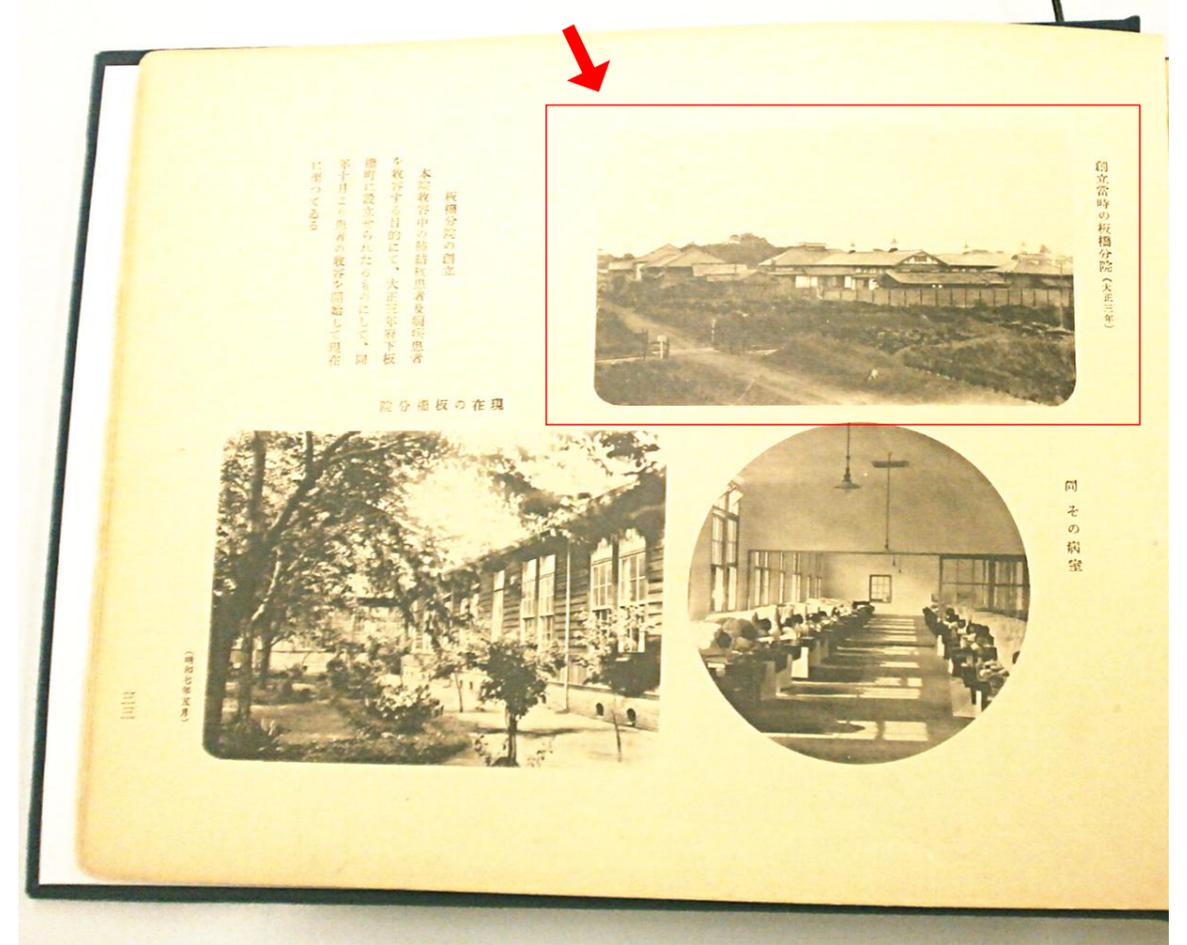
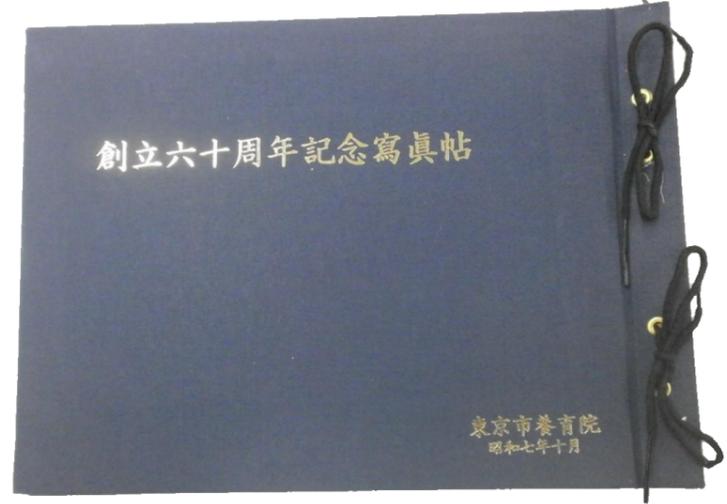
1935（昭和10）年の東京市告示第302号（都庁議会図書館所蔵）に、旧道の廃止と新道の市道化が記録されている。

東京法務局の道路移転登記では、新道の登記がなぜか1962（昭和37）年になっている。養育院の敷地も新道も東京都の管轄だからだろうか？



現況

板橋分院の写真（裏面の図①）  
 養育院刊行の「創立六十周年記念寫真帖」に、開設当時の養育院板橋分院の写真が載っている。  
 板橋分院は、本院の移転より早く、結核患者や痲疾患者を隔離収容する施設として1914（大正3）年に設置された。  
 木造平屋瓦葺の本館1棟、診療室1棟、収容病者3棟、および付属建物11棟で構成され、総建坪は698坪余りであった。



### 東京ジョッキー倶楽部「板橋競馬場」

板橋競馬場は1907（明治40）年8月に認可を得たが、明治40年に1回、明治41年に2回開催されただけで廃止された。計11日間だった。

1911（明治44）年加工の地図「東京府北豊島郡板橋町」（逓信協会）には、競馬場のトラックが描かれている。

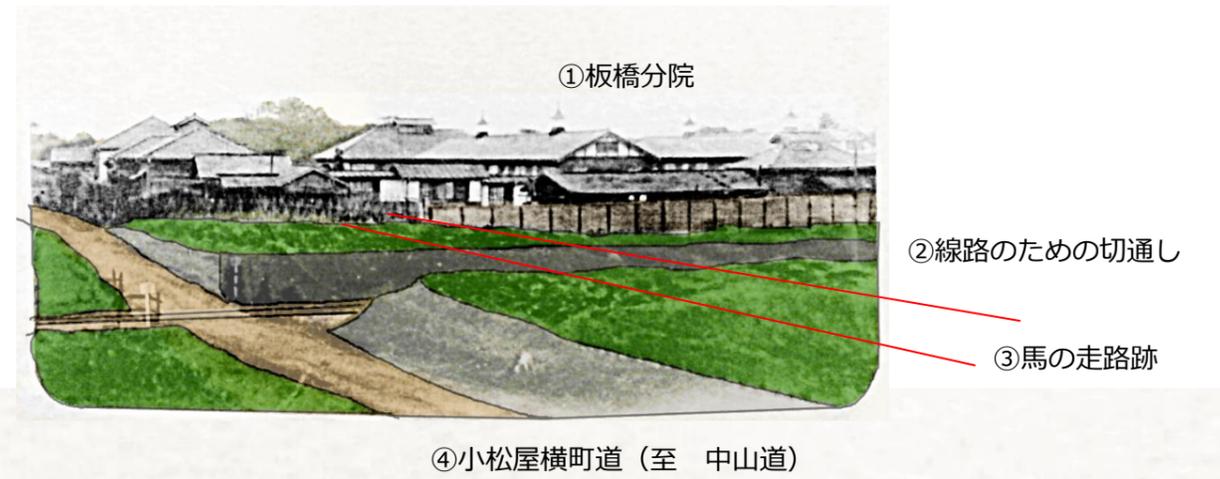
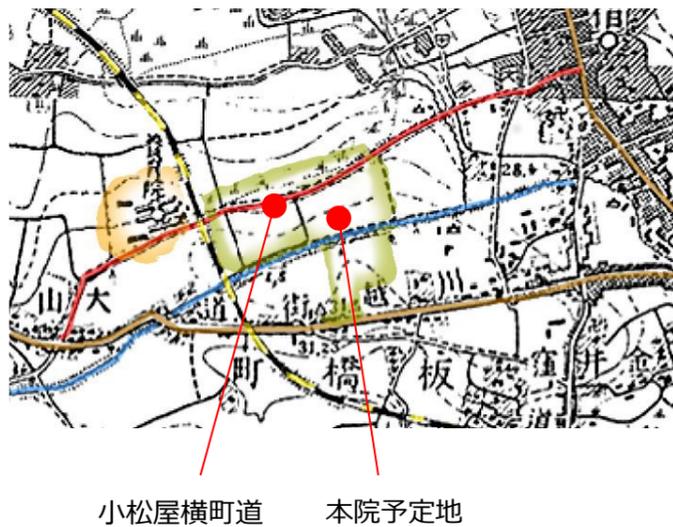


### 古道「小松屋横町道」の付け替え

大塚にあった養育院本院は1923（大正12）年の関東大震災で大破した。そのため本院も板橋分院の近くに移転した。

本院予定地には中山道と川越街道を結ぶ小松屋横町道③という古道があった。中山道からの分岐に「小松屋」という江戸時代から続く酒屋があった。

小松屋横町道は、本院敷地の外側に付け替えられた。



「創立六十周年記念写真帖」の写真を撮影し、パソコンで着色



開設当時の川崎市駅

### 東上鉄道の開設

分院開院と同じ年に、東上鉄道（現 東武東上線）が開通した。上の写真には、線路を通すための切通し④が写っている。

駅は11駅（池袋 下板橋 上板橋 成増 朝霞 志木 鶴瀬 上福岡 新河岸 川崎市 田面沢）。大山駅はまだ無かった。

蒸気機関車は貨車と客車を牽引して1日8往復。約2時間に1本発着した。

昭和4年に早くも電化し、昭和6年には大山駅も開設。昭和10年以降に段階的に複線化が進んだ。

# 高齢者のからだに合った医療を創る

日本の老年医学のはじまり

櫻園通信55. 令和元年9月  
東京都健康長寿医療センター  
養育院・渋沢記念コーナー  
連絡先: 老年学情報センター

宮本孝一 老年学情報センター



養育院開設  
1872 (明治5) 年



養育院に医療施設を開設。医療は東京府病院に委任。  
1874 (明治7) 年

養育院の医療を東京帝国大学に委任。  
1890 (明治23) 年

入澤達吉、東京帝大から養育院へ。(1897~1902)



東京大学開設  
1877 (明治10) 年

日本の老年医学の創設者  
浴風会病院 初代院長  
尼子富士郎 (1893-1972)

老年医学 (老年病学) は、高齢者特有の病気についての原因説明、予防、診断、治療を目的とした医学の一分野です。

一般に医療は、消化器科・循環器科のように、体の各部分 (臓器など) 別に区分されています。しかし、特定の臓器だけみる治療は高齢者の病気にはなじみません。

全身の臓器の状態、精神状態、生活上の必要動作への障害、生活環境の整備など、人の存在まるごとに関わるのが老年医学の特徴です。

子ども特有の健康問題に対しては、すでに昔から小児科学という分野が内科から分離独立しています。「小児科」です。同様に、高齢者に特有の健康問題に対しては、独立した分野「老年医学」が必要です。そのことを尼子富士郎は80年以上も前に主張し、浴風会病院と東京大学で老年医学の研究と指導を進めました。



震災で大塚の養育院本院が倒壊。板橋に移転。1923 (大正12) 年

渋沢栄一銅像建立。  
1925 (大正14) 年

## 関東大震災

内務省が、震災で被災した身寄りの無い高齢者を保護する財団法人**浴風会**を設立。  
1925 (大正14) 年  
翌年、施設**浴風園**開設。

尼子富士郎  
老年医学の創設に邁進  
(医療・研究・教育)

尼子富士郎、東京帝国大学医学部を卒業。そのまま医学部内科に所属。  
1919 (大正8) 年

尼子富士郎、浴風園に赴任。病室の医長に。  
1926 (大正15) 年

入澤達吉、養育院での経験をもとに**日本初の老年医学の教科書「老人病学」**を刊行。上巻1911年 下巻1913年



尼子は、師の稲田達吉教授から「誰も手をつけていない老人医学を極めなさい」と、浴風園勤務を薦められた。

「老人病学」は、養育院・渋沢記念コーナーでも展示中。

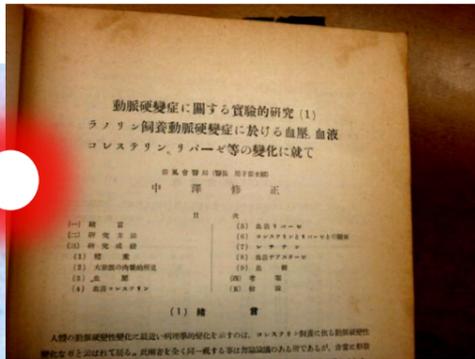
1972年、東京都は養育院に新しい病院を創りました。そこには村上元孝（初代院長）をはじめ、尼子富士郎の元で老年医学を学んだ専門家が集められ、高齢者対象の医療・医学研究の新拠点となりました。

養育院の病院（東京都老人医療センターに改称）は、東京都老人総合研究所と経営統合し、現在の東京都長寿医療センターになりました。

「健康寿命を保つにはどうしたらよいか」「健康問題があってもよりよく人生を生きるためにどのようなことが有効か」…超高齢社会が到来した現在も、尼子富士郎がめざした老年医学の確立・発展の営みは脈々と受け継がれています。

渋沢栄一死去。  
1931（昭和6）年

尼子富士郎、**世界初の老年学専門の学術雑誌「浴風園調査研究紀要」**刊行開始。  
1928（昭和3）年



## 太平洋戦争

浴風会の管理は、内務省から厚生省に変更。  
1938（昭和13）年

病室は**浴風園病院**に改称。尼子富士郎は初代院長に就任。  
1959（昭和34）年

老年医学・老年学の国内外の論文を網羅した文献目録「**老年学文献集**」発行開始。  
1962（昭和37）年

尼子富士郎、東京帝国大学で老年医学の講義を担当。  
1928（昭和3）年～  
1953（昭和28）年



「老人期における疾患は壮年期の夫れとは種々異なる特徴を示し、又老年期のみに見られる特異な疾患も存在する」とし、内科学から小児科学が独立したのと同様に老人病学の独立性を主張・・・尼子富士郎「**老年者の生理及病理概論**」1935（昭和10）年

尼子富士郎、東京大学で1953（昭和28）年まで講義。



大戦前の老年医学は「いかにして寿命を延ばすか」を目的にしていた。大戦後、老人の人口が増えてからは「健康な身体、生活の経済的な安定、知性の衰えを防ぐこと、をめざすのが老年学の目的である。医学・心理学・社会科学の研究者が協力して研究を進展させなければならない。・・・第2回日本老年学会総会 尼子富士郎会長講演 1961（昭和36年）

日本初の老年病学教室を開設。  
1962（昭和37）年

**浴風会病院**に改称。  
1971（昭和46）年

尼子富士郎、院長退職。  
1968（昭和43）年

日本初の老人専用総合病院**養育院附属病院**の開設。日本初の老年学・老年医学の総合研究機関**東京都老人総合研究所**開設。  
1972（昭和47）年

村上元孝 附属病院初代院長  
亀山正邦 副院長  
豊倉康夫 第2代院長  
蔵本 築 第3代院長  
小澤利男 第4代院長  
そのほか、東京大学と浴風会で老年医学を学んだ全国各地の専門家が養育院附属病院へ。



板橋ナーシングホームの開設。  
1976（昭和51）年

養育院附属病院を東京都老人医療センターに改称。  
1986（昭和61）年

養育院条例廃止により、都の組織上「養育院」はなくなる。  
2000（平成12）年

板橋老人ホームの開設。  
1978（昭和53）年

入所者専用病院から、地域の一般の患者を治療する高齢者専用病院に方向転換。  
1981（昭和56）年

尼子富士郎、死去。  
1972（昭和47）年

高齢者保健医療総合センター（浴風会病院+老健くぬぎ）オープン。  
2014（平成26）年



**社会福祉法人浴風会**（杉並区高井戸）  
日本の老年医学発祥の地  
敷地内には、浴風会病院のほか、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム 軽費老人ホーム、グループホーム、在宅サービスセンター、ヘルパーステーション、介護老人保健施設、認知症介護研究・研修東京センターなどの施設で高齢者福祉事業を行っている。

高齢社会総合研究機構を設置。  
2009（平成21）年



東京大学



養育院附属病院の開院式では、皇太子（現 上皇）ご夫妻がご臨席。

東京都老人医療センターと東京都老人総合研究所を経営統合して、**地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター**設立。  
2009（平成21）年



# 養育院が出来た時代 —明治5年の東京—

宮本 孝一 老年学情報センター

参考：鳥越一朗「おもしろ文明開化百一話」ユニプラン2018

明治5年、政治・経済の様々な課題と改革の混乱期に、東京市中の貧民を収容する養育院事業がはじまりました。現代からはなかなか想像できない「養育院が出来たころの東京」はどのような風景だったのでしょうか。

もともと江戸人口の半数は各藩の武士（大名・旗本など）でした。幕府が倒れるとその武士たちは一斉に帰郷して江戸からいなくなります。そのため武士以外の住民は生計を立てる職のしくみを失い、貧民が激増しました。さらに不作で農村からも貧民が流入し、新首都東京は浮浪者が増え続けます。「幕府瓦解の余波は江戸市中を非常な混乱状態に陥れ、働くに職なく、食うに糧なき窮民が一時に激増し、飢えて途に横たわる者が数知れぬという有様であって、その惨状は実に名状す可からざるものがあった」（渋沢栄一）



明治5年、渋沢栄一35歳。  
民部省・大蔵省に仕官。  
長男篤二生まれる。



印刷物では東京の京の字に「京」も使われていた。  
文字だけでなく読みもトウキョウとトウケイの2通りが使われていて、どちらか定まっていなかった。

明治5年に明治天皇が牛肉を食したことで、肉食解禁。すぐに牛鍋が大流行。  
明治10年には東京市内に牛肉料理店が500件以上あった。



安愚楽鍋の繪



明治時代の  
カレーライス

明治5年に西洋料理のレシピ本「西洋料理指南」「西洋料理通」が出版された。  
それらの本の料理から、コロッケ、カレー、エビフライなど日本人好みにアレンジされたさまざまな「洋食」が誕生した。

明治5年に東京市内の町火消は消防組に改称。  
輸入の手動ポンプと蒸気ポンプが使われた。  
手動ポンプは放水能力を発揮して活躍したが、道路が狭い東京市中では蒸気ポンプはあまり使われなかった。



明治4年に散髪脱刀令が出ても、チョンマゲの断髪は進まなかった。床屋にはまだ洋式の理髪技術がなく、さまざまな珍髪型が登場した。

明治4年、両・分・朱を廃止して貨幣の単位を円・銭・厘に改定。明治5年に初の西洋式印刷の紙幣「明治通宝」を発行。ドイツで印刷された。



伊豆に住むおばあさんが海でお札を拾い、お金と思わず、金比羅さんのお札と勘違いして神棚に貼ったという記事が当時の新聞に載った。



明治5年、郵便事業が全国的にスタート。郵便物の集配員には、失業した飛脚が優先的に採用された。  
明治6年、東京見物に来た男が「郵便箱」を「垂れ便箱」とまちがえて用を足して巡査に取り押さえられた。

明治5年、学制発布。全国に小学校を設置。6歳～10歳の4年制だったが、その年齢は丁稚や子守などをしているため就学率は低かった。  
「子どもを学校に集め、唐人（外国人）が生き血を絞る」という岡山のデマ騒動の記事が明治6年の東京日日新聞に載った。

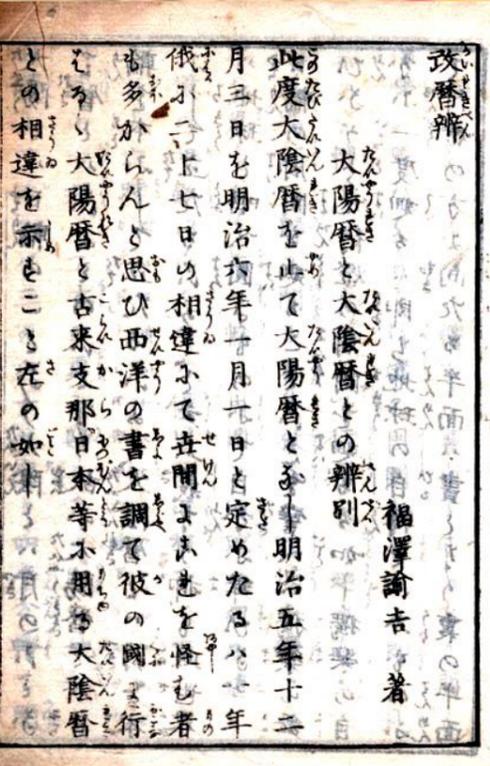


明治9年に廃刀令が出されるまで、和洋ごちゃまぜの奇妙な服装の人が多かった。



明治時代の珍服装

ウサギの飼育が大流行。毛色や耳の形が変わったウサギが高値で売れたため。  
価格の変動が激しく、無一文になる没落士族もいた。ウサギバブル。  
明治6年にウサギ1匹1ヶ月1円課税したところブームが下火になった。



旧暦（太陰暦）から新暦に切り替え。明治5年12月3日が明治6年1月1日に。  
かんたんな詔書を出して23日後に改暦。国民はなにがなにやら。福沢諭吉はすぐに改暦の解説書「改暦弁」を出版。  
この時期に改暦をしたのは、財政難の明治政府が官吏の人件費を節約するためといわれている。  
旧暦だと12月のあとに閏12月があるが、この改暦により、12月と閏12月の給与を払わずにすんだ。

明治7年、東京にガス灯設置。  
ガス工場（港区 金杉橋あたり）から地下のガス管を通してガスが送られた。  
人の表情や動きがやっとぼんやり見える程度の明るさしかなかった。

